



日向 薫
＜宝塚歌劇団・星組＞



★oh★タカラヅカ対談★

星組にはとても新鮮

アップテンポの楽しい舞台



穂藻 えり
＜宝塚歌劇団・星組＞



紫苑 ゆう
＜宝塚歌劇団・星組＞

タカラヅカの春を彩る「春の踊り」恋の花歌舞伎」そしてミュージカル「ディガ・ディガ・ドゥ」今月は星組による華やかな舞台が繰り広げられています。公演中の日向薫、穂藻えり、紫苑ゆうの皆さんを訪ねてお話を伺いました。

■美しいジュサブローの衣裳

——今回の作品の印象はいかがですか？

日向 2作品とも明るく軽快なテンポのもので、毎日気持ちよく過ごしています。同時に初舞台生の公演でもあるし大人気でワイ

ワイと楽しいですよ。
紫苑 アップテンポの舞台で一日も早く過ぎるよね。朝起きたら、ああもう日が暮れた……っていう感じで。

穂藻 新しいパターンの日本ものです。大劇場では一応、新コンビのお披露目になってますけど正確には「戦争と平和」名古屋公演からなんです。

日向 もうずっと前からコンビを組んでるという気がしますね。

——紫苑さんは「さくら姫」で女役をされてましたね。

紫苑 そうなんです。他の組の人たちはショーの中でよく女役の場合があるんですが、うちの組は今まで減多になかったんですよ。いきなり日本もので女役が巡ってきたので初めは少し抵抗がありました。

日向 最も物語性のある、タカラヅカらしい幻想的なシーンですね。今回は辻村ジュサブローさんの衣裳で全体的に見てもかなり斬新な日本ものというイメージがあるんです。

紫苑 色がすごく綺麗、深みのある中で赤や黄とかえげつない色がステキなんです。

日向 ジュサブローさんの衣裳ってタカラヅカでは初めてでしょう。以前から「チャンスがあれば」と考えて下さっていたらしい



んですけどね。

紫苑 実際お会いしてみても、芸術家タイプとイメージしていた通りの方だった。

日向 いろいろみっちりアドバイスして下さったよね。「日本ものという感覚に促われないで、もっと自由奔放に」とか。稽古の最後まで熱心に見て下さいました。

■ カッコよくって、楽しくて：

—— 第二部のミュージカル「ディガ・ディガ・ドウ」は懐しい雰囲気ですね。

日向 ええ、これがまたすごく楽しいんですよ。前回「戦争と平和」のかっちりした軍服姿から背広に変わったでしょう。変化があつていいですよ。変身願望が満た

されてますね。

紫苑 そう、その上「いい顔」をしなくてもいい(笑)。やぶにらみでも姿勢が悪くても構わないんだものね。

穂藻 二人ともすごくカッコイイっていう感じ。

紫苑 今までになかった役どころだし、演ってもスカッとして気持ちがいい役ですね。たまにやる



から発散できるっていう意味もあるんだろけれど。でもね、他の組の人や後輩からもやっぱり「新鮮だ」という評が多いですね。

日向 ずっとお互いと同じ場面に出入りしているというのも、考えてみれば珍しいよね。

紫苑 変わったパターンだね。

——この公演はいつまでですか？

日向 3月30日が初日で千秋楽は5月9日です。あと、東京では7月に予定されてるんですけどね。

やはり日本ものの衣裳、化粧に慣れるまでが大変です。今日あたり

(4/10)なんかは、ようやくノッてきたなという気がしますが。

紫苑 そうだね。ギャングの仕種にもそろそろ慣れてきたかな。

日向 とにかく、この公演がいろんな意味で成功してくれたので、とても嬉しいんです。

——見ている私達もすごく楽しかったです。ところで紫苑さんにニューヨーク公演が控えていらっしやるんですね。

紫苑 そうなんです。もう責任重大なので行くだけで必死、という思もちですよ。11月なんですけど、本場で恥かしくない舞台をお見せできるように頑張りたいと思っています。その前に5月28日からはパウ・ホール公演が控えているんです。ツルゲーネフ原作の「春の水」をベースにした「誓いの首飾

り」という作品がありますので、ぜひたくさんの方に見ていただきたいなと思います。

■次は話題作「ベルバラ」に挑戦

——忙しくてプライベートタイムも遊べないんじゃないですか？

日向 そうですね。もう2月にお稽古に入ってから、他のことを考えている暇もないという感じでした。

紫苑 ホントにね。もう一日の早いこと！

——さて、次の星組公演は「ベルサイユのバラ」とお聞きしていますが…。

日向 ええ、もう去年からずっと取材攻めに合ってたんですが、やはりあれだけの話題作に出られるということはしあわせですね。

穂藻 私がフアンの時代の作品であの衣裳に憧れてタカラヅカに入ってたわけですから今でも信じられないですね。ですから見ていた時代そのままの状態で宝箱にしまっておきたかった、という気持ちも少しあります。

日向 星組とは非常に縁のある植田先生の作品ですし、今回の公演に引き続き頑張りたいと思っています！

(89・4・10 歌舞レストランカラベルにて)

MESSAGE from TAKARAZUKA



STAGE

●華麗なる王朝ロマン
「新源氏物語」再び
8年前に同じ月組で
公演大ヒットした「新
源氏物語」が上演される。

時の帝、桐壺の皇子と



光源氏 (剣幸) 光源氏 (剣幸)
光源氏 (剣幸) 光源氏 (剣幸)
光源氏 (剣幸) 光源氏 (剣幸)



藤壺 (こだま愛) 藤壺 (こだま愛)

は亡き
母、桐
壺更衣
に生き
写しの
藤壺(こだま愛)に幼い頃から思慕の情を抱いていた。藤壺が帝の女御であるにも拘わらず、源氏は藤壺への熱情を抑えきれずに罪深い一夜を持ち、やがて藤壺は源氏の子を宿す。

二度と逢えない藤壺への恋のはけ口を年上の女性、

六條御息所に求める源氏はその一方で北山で出会った美しい少女、若紫を邸に迎える。また勝気な年上の妻、葵の上は六條御息所の怨念に悩まされ、源氏の子、夕霧を産んだ後にこの世を去ってしまう。

源氏は朱雀帝の尚侍となる臘月夜(紫とも)との密通が原因で須磨へ、そして明石へと移る。赦されて都へ戻ってきた翌年、冷泉帝が即位、太政大臣の地位についた源氏には思いがけないできごとが待っていた。さて2部は、一転して明るくスピーディーでスリルに富んだショーを送ります。

★宝塚グランドロマン「新源氏物語」
I 田辺聖子作「新源氏物語」より柴田侑宏脚本・演出 ショー「ザ・ドリーマー」三木章雄作・演出 5/12 16/27 宝塚大劇場 S3660 0円 A2500円 B1600円 C700円 (水曜休演)

BOW HALL

●パウ・ロマン

「誓いの首飾り」

十九世紀中頃、古都フランクフルトとベテルスブルグを舞台にくりひろげる青春ドラマ。ロシアの青年貴族サーニン(紫苑ゆう)はイタリアの下町娘ジェンマ(青山雪菜)と恋に陥る。故郷に帰ったサーニンの前に妖艶な公爵夫人マリーヤ(洲悠花)が現われ二人の純愛は、やがて雪だけの春の水のようにむなしく流れ去ってゆく。ツルゲーネフ原作の美しいロマン。



愛に悩む青年貴族サーニン (紫苑ゆう)

★パウホール星組公演「誓いの首飾り」二幕
ツルゲーネフ原作「春の水」より
大関弘政脚本・演出
5/28 16/12 宝塚パウホール 3500円

NEWS

●友の会へのお誘い

素敵な夢を贈り続ける宝塚の舞台。そのレディドリーマーの世界への架け橋、宝塚友の会にあなたも入りませんか。

A会員/六カ月 三千三百円

B会員/六カ月 三千三百円

円

円

円

円

円

円

円

円

円

円

円

円

円

円

円

円

円

円

円

円

円

円

円

円

円

円

円

円

円

宝塚歌劇 座席券セットのホテル

宝塚レディーズイン

●ご宿泊(朝食付) お一様¥5,500
<税別> 全室バス・TV付

レストラン **カラベル** 欧風料理

宝塚レディーズイン1F

阪急宝塚南口駅、徒歩3分・阪急宝塚駅、徒歩5分
〒665 宝塚市武庫川町47-1 ☎0797(81)0001

★モイドメイトミチコ主催「春の宴」

毎回「ゲスト」がモデルを兼ねるファッションパーティーを開催している藤井美智子さん（モイドメイトミチコ）。六回目となる今回は、桜の花も満開の4月2日、神戸外国倶楽部にて行われた。



あてやかにドレスに変身

小田格さんのピアノ伴奏、田淵あきささんの司会によって次々と披露される和服地の美しい、日本古来の着尺の良さを最大限に利用した服の一点、一点、集まった人も興味深く見ていた。伝統の良さは少なかったりも、なかなか和服を着る機会はないもの。古典的な柄の帯地が、セミフォーマルのドレスになったり、長袴が、軽やかなロングジャケットに、と切り口を変えるだけで鮮やかによみかえる様子は、まるで手品を見ているよう。ショーのあとは一期一会の古元万々美さんによって「夢路より」ことばにいてほしい」といった春の歌が流れ、会費はすっかりなごやかな雰囲気包まれた。

★ロマンティックに、ハーブを浴びて

毎年、恒例になった神戸レディーズサウナ（山田佳子社長）のチャリティ葉草浴が今年も4月20日（水）に行われた。サウナ、薔薇のハーブバス、ハーブサウナ、冷水超音波バス、温湯パイプバス、マッサージュシートの6つのバスのサウナコースが100円で愉しめるとあってこの日もオープン一時間前からすでに人の列。年令も幅広く、毎年かかさず来



肌と心を優雅に

ているというお年寄りから、TVのCMをみて駆つけたOLまで様々。
18周年をむかえる今年は、このチャリティを機に毎月ハーブのバスを愛する「ハーブカレンダー」を始める。4月がローズ、5月がシロウブ（5/5のひび）、6月がラベンダーといったフラワーバジョン。ブルームになる前からハーブをのびのびしていたレディーズサウナならではの企画、ロマンティックにハーブを浴びてみては。

★のぞいてみませんか、手づくりバザール
アートフラワー、レザークラフト、彫金、そしてサマーニットや子供服などあらゆるジャンルから参加して行なわれる手づくりの文化祭「ハンドクワイア」のアピールホールで開催される。5/11・13、14・16の2期に分かれ、それぞれ90点余が展示即売、当日はそこから優秀作品も何点か選ばれる。



三上 恵美子さん

このフェアに
ニットデザイン
1三上美恵子
さん神戶から出
展。サマーニッ
さんのシンブル

で美しいニットウェア約30点見られる。
個性溢れる手づくりのフェア、ボカボカ陽気に誘われてちょっと出掛けてみませんか。
■5/11・13、14・16 AM10・PM6（ただし、13、16日は5時まで） 問合せ0797（74）0111 浜野まで

★和田アキ子のお店が北野の新名所に



おしゃれビルF I X 213

3月18日に華々しくオープンした和田アキ子のお店が話題を呼んでいる。
場所は異人館通り。ハンター坂との交差点を少し東へ行った所、有名なF I X 213ビルの2Fと3F。2Fはヘアサロン「BUZZZ」、主にロンドン、ニューヨークで活躍しているヘアアーティスト、二村桂子さんがチーフ。3Fはおしゃれなインナーショッ

プ「A&K」。Dior、ワコールなどのブランドインナーウェアの他に、ホリプロ有名タレントのキャラクターグッズも豊富。
なお店舗を特設したのは商業不動産事業計画コンサルタントの株式会社（資3024009）。

■中央区山本通2-13-14 F I X 213ビル 73359（A&K）
■242-17331（BUZZ）、242-17359（A&K）

★カラー・コレクション

「スナコ・バタ」デザインセミナーの卒業生によってつくられているK・D・C（KNIT DESIGNERS COMMUNITY）が5月23日（火）、大阪梅田サントピアのクリスタルホールで14回目のコレクションを発表する。



華やかに色づいて

「K・D・C」のコレクションは歳時記をテーマに「新しい日本の色」を表現構成した。このコレクションの午後4時の部を10名、午後6時半の部を10名、招待する10名の希望者は、住所・氏名・電話番号・どの部がほしいか明記の上、フッシャースポット・コレクション係まで。

★市民の花、あたたかく刺繍で笑く

兵庫県の花野路菊、神戸市の花アジサイ、市内各区の花々や花がモチーフのマークなどの秋風刺繍による展覧会「光ヶ丘グループ展」一兵庫、神戸、各区の花ア・ラ・カルト、神戸市制100周年記念、去る3月25日から2週間、御影ガーデンシティ1階ギャラリーにて開かれた。



美しく仕上げられた作品

花を愛する欧風刺繍作家鹿島光子さん（中央区楠町44才）を中心としたグループ9名が、もあって一年前から計画し、写生し、製作した作品22点。神戸は花が好きで人が多いし、区民の花やマリークなどもよく知っているからと、と語った鹿島さん。大層かつさんの内弟子として刺繍の腕を磨いた。花の自然さ大切に、と30色・50色を使い、糸1本取りで刺す丹念な温か味のある仕様に、感嘆の声が上がった。

'89

EARLY SUMMER COLLECTION

初夏の風を誘って、エレガントに、マニッシュ。



serizawa

KOBE

■本店 神戸市中央区三宮町3-1-8

TEL. 078-331-1695

・
さんプラザ店
センター街店
さんちか店
P-4ショップ
メンズセリザワ

・
KOBE・OSAKA
TOKYO・KYOTO・HIMEJI



お洒落のための特典いろいろ
1枚のカードから

■セリザワカード

夏へと誘うニュアンスがある。



イタリアをはじめ、各国の貴婦人から
絶大な信頼を受けている、「ジェニー」。
この夏は、カーディガンのようにゆったりとした
スクエア・ラインのジャケットや、
腰にゆとりをもたせたストレートパンツ、
そして膝上の丈のスカートを提案。
サファリやコロニーをイメージした
着やすく洗練された装いが、
あなたを夏へと誘います。

レディス/ジェニー)スーツ(絹100%)260,000円
■本館3F ワールド レセプション

WORLD RECEPTION

ワールドレセプション

Gian Versace

MISSONI

valentino garavani

GIANNI
S.Y.

erreno
MILANO ITALY

GIANNI MARCO VENTURI

■本館3F

—(ワールド レセプション)—

メンズ/ジャケット、スラックス参考商品
(ジャンニ・ヴェルサーチ ウォマン)

■新館5F 舶来特選 ロイヤルサロン

●記載表示価格は消費税抜きの価格でございます。



For you



アイビー
IVY

初めて出逢う人に与える印象は、いつも大切にしたいーやわらかな曲線と輝きを持つ真珠は、宝石の中でも最も清楚なイメージで若い女性のフォーマルシーンに彩りを添える。その真珠を美しいゴールドのデコレーションにつつまこんだのが、アイビーシリーズです。小粋で若々しい感覚、愛らしく散りばめられた小さな一粒一粒を山勝真珠から貴女に贈ります。



山勝真珠

〒650 神戸市中央区山本通2丁目5番3号
(パールストリート) TEL 078-231-8141

山勝真珠さんちか店 三宮さんちか(ローザアベニュー) TEL. 078(391)4325
京都アーバンクロス店・心斎橋店・岡山店

KRIZIA

女性美です。

都会の引力は、

KRIZIAUOMO

Sanohe

ヌーベルサノヘ
〈元町1番街〉
TEL. 321-1710



(右) メゾン・ド・トワレ ¥45,000 (左) ペラ ¥48,000

Fashion PROMENADE

Vol. 3

宝塚ファミリーストア店のお客様

深沢歳子さん (右)

幣原幹子さん (左)

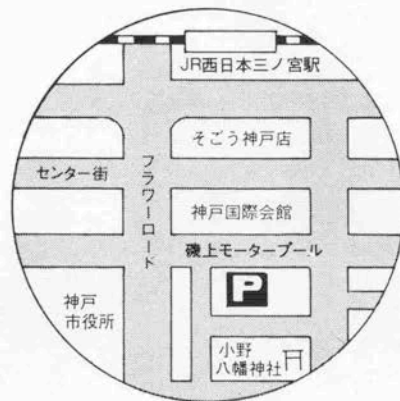
お姉さんの歳子さんは高校生の時から“まさ”の大ファン。幹子さんの装いも全て歳子さんがコーディネートするほどとっても仲の良い姉妹です。白がポイントの今日の二人、新緑の中で輝いています。

——— メリケンハークにて

KOBE
MASA

きんちか店 (078) 321-4545
宝塚ファミリーストア店 (0797) 73-5359
千里阪急地下街店 (06) 831-0756
須磨パティオ店 (078) 792-5652
加古川店 (0794) 25-5514
さんブラザ店 (078) 331-0950

ビジネスに!
ショッピングに!
ご利用ください



磯上モータープール

- 収容台数 350台
- 月極駐車可
- 年中無休

(神戸国際会館前) TEL (078) 251-2662 (8:00A.M.~11:00P.M.)

神戸のお嬢さん (86)

スポーツ万能の 淑女

三原 淑花さん (甲南大学文学部卒)

淑花さんとは我家の次男と三歳児保育で、一緒にやって以来の、お母様共々お付き合ひさせていただいております。

甲南の校訓に「知育徳育体育」と有りますが、その教えどおりに甲南女子高校の伝統ある硬式テニス部のキャプテンを努められ、体育部にいながら受験もこなされました。

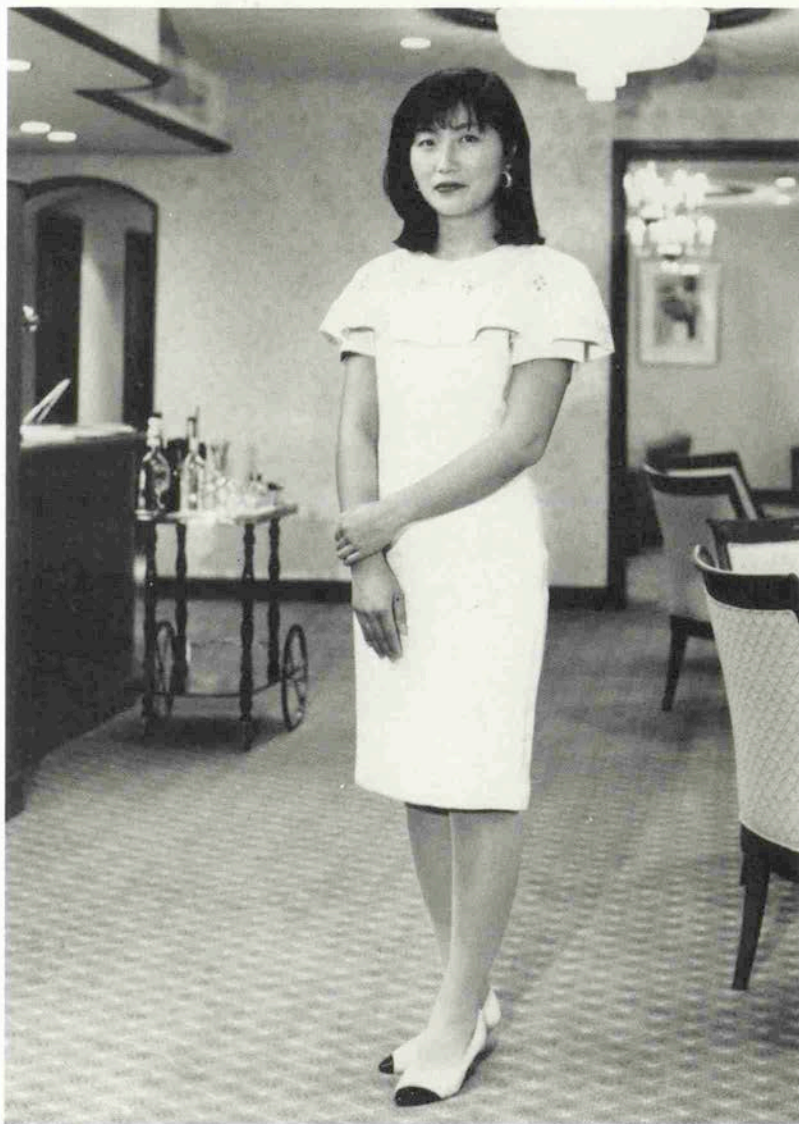
又、祖母様ともご一緒にお住まいで気遣いの出来る優しいお嬢様です。この春、社会人になれましたが淑花ファンクラブが出来るとは思っておりません。

カメラ・池田年夫



推薦者／中内安子

〈神戸ポートピアホテル
中内力社長夫人〉



神戸のお嬢さん (87)

初夏の陽差しに こぼれる笑顔

田中澄枝さん

〈神戸アバン
第一事業本部企画課〉



澄枝さんは、神戸女子大学在学中に小学校教師をめざしていらつしやいましたが、ファッションに興味があるということで現在のお仕事に就かれました。今年の春にはファッションの本場、ヨーロッパへ出張に出掛けられるなどのご活躍ぶりです。

現在、真生流生け花をお教えしておりますが、やはり仕事をしていく内に身についたファッションセンスが生け花にも、きちんと生かされているようです。スポーツ万能、明るく、そして大変おしとやかな素晴らしい女性です。

推薦者／上月節子

〈神戸女子大学教授
工学博士〉



カメラ・松原卓也

天然の素材と美しいカッティングがアバンの高級クチュールブレタ“VOTRE”の基本姿勢です。



インポートを越える新感覚 “VOTRE” デビュー

去る4月4日、ポートピアホテルにて、ひとつのファッションショーが開かれた。ブランドの名は「ヴォートル」。まだ無名のデザイナー岩田明氏のデビューブランドである。

岩田氏は1980年渡仏、ギ・ラ・ローシュバリ社オートクチュール部門に勤務、88年帰国後（株）アバンの小林社長に見込まれ、今回のデビューとなった。

舞台は、クラシックの生演奏に乗せて格調高く進行した。強いライトの中、美しく映える生地は、妥協のない目で選び抜かれた事を物語っている。マヌカン達が歩く度、止まる度、美しく決まるフォルムは、細心の注意を以てデザインされ、入念に仕立てられた事を物語っていた。完成された大人の風格。けれどもどこかに可愛らしさや若々しさが覗く。「ヴォートル」のデビュー作はそんな印象を与えた。

思えば高級ブレタは舶来ブランドに押され続けている。普段の洋服はともかくとして、何か特別な日に着る服。特別な思い入れを持って買い求める服は、サンローランであり、シャネルである。この流れを変えて行くかも知れない。そんな可能性を見せた今回のショーであった。

過日、ギ・ラ・ローシュ氏の死去が報じられた。パリから岩田氏に届いた激励の手紙の日付は、くしくも死去の当日、「ショーの準備に追われて、駆けつける事が出来なかったんですよ」手紙を手に言葉少なに語る姿が印象的であった。